

Amakuru?

Kabiri

02

JICA Hokkaido - Rwanda News published by Takuma Fujiwara

#JICA海外協力隊 #2021-1st Batch #Rwanda #Volunteer

 派遣先の「ルワンダ共和国」ってどんな国？


面積	2.63万平方km (四国の約1.4倍!)
人口	1,268万人 (日本の約1/10!)
首都	キガリ (Kigali)
言語	キニアルワンダ語、英語、フランス語、スワヒリ語
宗教	キリスト教 (カトリック、プロテスタント)、イスラム教
通貨	ルワンダ・フラン (FRW: 1 FRW = 約0.1円)
主要産業	農業 (コーヒー、茶等)

※Informations from Ministry of Foreign Affairs of Japan

ルワンダは、石油や天然ガスなどの資源に恵まれず、港がないために製造業にも不利な内陸国です。そのため、現在は未来を見据えてICT (情報通信技術) による国づくりを推進しており、その目覚ましい経済成長は「**アフリカの奇跡**」と言われています。また、「**千の丘の国**」と呼ばれるほど起伏が激しく標高も高いので、ほぼ赤道直下にも関わらず気温は20℃前後と、非常に涼しい (個人的には、朝晩は寒いくらい) です。

※詳細な情報は、今後少しずつ紹介していきます！


 ルワンダの国旗に込められた意味とは？ ※私の所感を含みます


アフリカの国の多くが国旗に**赤色**を使っているのに対し、ルワンダの国旗には赤色がありません。なぜなら、赤色は「**血**」や「**犠牲**」を連想させるからです。1994年、ルワンダ国内で起きた大虐殺 (ジェノサイド)。約100日間の民族紛争の末、80万人以上、当時のルワンダ国民の実に10人に1人以上が命を落としたと言われています。そんな

悲しい歴史をもつルワンダだからこそ、2001年に変わった現在の国旗には「赤色を使わない」という選択をしたのです。

国旗を彩る3色のうち、最も広い範囲を占めている色は、赤色の反対色である、青色。皆さんは、晴れ渡る青空を見上げたとき、どのような気持ちになるでしょう？気持ち良くて幸せな気持ちになりますよね。そう、ルワンダの国旗には、「顔を上げ、まぶしく輝く未来へ向かおう」という願いが込められているのです。

青色は空を見上げたときのような幸福と平和を、**黄色**は国民の協調と経済的发展を、**緑色**は豊かな自然と繁栄への希望を、そして**太陽**は人々を導く希望の光を象徴しています。ここまで読めば気付いた人も多いと思いますが、私はこの国旗をもとに「ルワンダ通信」をデザインしました。私は、それだけこの国旗をリスペクトしています。